



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 フリュー株式会社

コード番号 6238 URL <https://www.furyu.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三嶋 隆

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 財務経理部 部長 (氏名) 藤村 卓 TEL 03 (5728) 1761

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,234	1.8	711	△4.0	710	△4.0	549	10.0
2019年3月期第1四半期	6,124	3.7	741	△1.2	740	△0.4	499	0.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 524百万円 (1.1%) 2019年3月期第1四半期 519百万円 (7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	19.45	—
2019年3月期第1四半期	17.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	23,419	17,436	74.4
2019年3月期	25,021	17,948	71.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 17,426百万円 2019年3月期 17,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,600	1.7	3,600	1.6	3,600	1.9	2,400	27.5	84.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	28,296,000株	2019年3月期	28,296,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	181,025株	2019年3月期	325株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	28,245,894株	2019年3月期1Q	28,295,808株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）における経済環境は、国内外とも緩やかな回復傾向で推移しましたが、経済全体の先行きについては不透明な状況が続きました。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のこころを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する！」のもと、プリントシール事業の拡大、若年女性層の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、キャラクターIP（知的財産）を利用した商品販売に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高6,234百万円（前年同期比101.8%）、営業利益711百万円（前年同期比96.0%）、経常利益710百万円（前年同期比96.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は549百万円（前年同期比110.0%）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(プリントシール事業)

プリントシール事業におきましては、2019年6月に新機種「AROUND20（アラウンドトゥエンティ）」を発売いたしました。また、直営店「girls mignon（ガールズミニョン）」の新規出店や既存店舗のリニューアル等を行い、プリントシール機全体としてのプレイ回数は堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,343百万円（前年同期比116.2%）、営業利益は320百万円（前年同期比127.0%）となりました。

(コンテンツ・メディア事業)

コンテンツ・メディア事業におきましては、プリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」の入会促進施策と継続利用促進施策に取り組み、2019年6月末における有料会員数は162万人となりました。また、カラーコンタクトレンズの販売において、「Lumia（ルミア）」等のオリジナルブランドを中心に売上が増加いたしました。一方で、若年女性層の顧客基盤を活かした新規事業開発のための費用が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,216百万円（前年同期比105.3%）、営業利益は1,002百万円（前年同期比96.1%）となりました。

(キャラクタ・マーチャンダイジング事業)

キャラクタ・マーチャンダイジング事業におきましては、多数の新規キャラクター版権の獲得とその商品化を行いました。また、高価格帯を中心としたフィギュア等のホビー販売の売上が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,127百万円（前年同期比106.4%）、営業利益は48百万円（前年同期比106.0%）となりました。

(ゲーム事業)

ゲーム事業におきましては、前第1四半期連結累計期間において、家庭用ゲームソフトの新作の発売がありましたが、当第1四半期連結累計期間においては、新作の発売がなく、第2四半期以降に販売計画が集中しております。また、アニメ事業につきましても、新作のBlu-ray・DVD販売売上、製作委員会における配分金収入の計上が、前期は第1四半期連結累計期間に集中しておりましたが、当期については第2四半期以降に分散しております。一方で、ゲームアプリにつきましては、女性向け恋愛シミュレーションゲームの売上が堅調に推移いたしました。

なお、当社の子会社である株式会社コアエッジの損益については、前第2四半期連結会計期間まで持分法を適用しておりましたが、2018年9月の連結子会社化により、前第3四半期連結会計期間以降の損益計算書を連結しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は463百万円（前年同期比54.9%）、営業損失は233百万円（前年同期 営業損失145百万円）となりました。

(その他)

その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は84百万円（前年同期比85.4%）、営業利益は19百万円（前年同期比102.6%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が23,419百万円、負債が5,983百万円、純資産は17,436百万円となりました。また、自己資本比率は74.4%となりました。

（資産）

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,602百万円減少し、23,419百万円となりました。これは主にたな卸資産の増加（前連結会計年度末比542百万円の増加）、流動資産の「その他」に含まれる預け金の増加（前連結会計年度末比305百万円の増加）があった一方で、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比1,677百万円の減少）、受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末比704百万円の減少）があったことによるものであります。

（負債）

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,089百万円減少し、5,983百万円となりました。これは主に電子記録債務の減少（前連結会計年度末比362百万円の減少）、流動負債の「その他」に含まれる未払費用の減少（前連結会計年度末比447百万円の減少）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比674百万円の減少）によるものであります。

（純資産）

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ512百万円減少し、17,436百万円となりました。これは主に配当金の支払による利益剰余金の減少（前連結会計年度末比299百万円の減少）、自己株式の増加（前連結会計年度末比188百万円の増加）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,794,224	12,116,698
受取手形及び売掛金	3,890,527	3,186,501
電子記録債権	993,306	1,106,404
たな卸資産	1,219,748	1,762,591
その他	1,012,557	1,278,056
貸倒引当金	△2,903	△1,937
流動資産合計	20,907,461	19,448,314
固定資産		
有形固定資産	2,217,303	2,035,205
無形固定資産	220,587	250,490
投資その他の資産		
その他	1,690,581	1,699,650
貸倒引当金	△14,072	△14,072
投資その他の資産合計	1,676,508	1,685,577
固定資産合計	4,114,399	3,971,274
資産合計	25,021,861	23,419,588

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	614,567	956,046
電子記録債務	1,772,461	1,409,466
未払法人税等	870,260	195,781
賞与引当金	5,667	238,493
返品調整引当金	103,987	93,075
その他	2,645,642	2,044,021
流動負債合計	6,012,586	4,936,885
固定負債		
退職給付に係る負債	903,257	901,835
長期借入金	149,134	136,630
その他	8,426	8,116
固定負債合計	1,060,818	1,046,582
負債合計	7,073,405	5,983,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,216	1,639,216
資本剰余金	1,639,216	1,639,216
利益剰余金	14,747,554	14,447,960
自己株式	△314	△188,610
株主資本合計	18,025,671	17,537,781
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△5,561	△15,485
退職給付に係る調整累計額	△98,000	△96,048
その他の包括利益累計額合計	△103,562	△111,533
非支配株主持分	26,346	9,872
純資産合計	17,948,456	17,436,120
負債純資産合計	25,021,861	23,419,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,124,696	6,234,863
売上原価	2,694,624	2,649,252
売上総利益	3,430,072	3,585,611
販売費及び一般管理費	2,688,836	2,874,322
営業利益	741,235	711,288
営業外収益		
債務整理益	72	1,799
受取和解金	9,259	—
その他	185	105
営業外収益合計	9,516	1,905
営業外費用		
支払利息	152	817
為替差損	7,398	1,934
持分法による投資損失	3,194	—
その他	0	9
営業外費用合計	10,745	2,761
経常利益	740,006	710,432
特別利益		
固定資産売却益	207	—
特別利益合計	207	—
特別損失		
固定資産除売却損	5,538	9,834
特別損失合計	5,538	9,834
税金等調整前四半期純利益	734,676	700,598
法人税等	235,421	167,796
四半期純利益	499,254	532,802
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△16,473
親会社株主に帰属する四半期純利益	499,254	549,276

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	499,254	532,802
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	18,491	△9,923
退職給付に係る調整額	1,478	1,952
その他の包括利益合計	19,970	△7,971
四半期包括利益	519,224	524,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	519,224	541,304
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△16,473

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式180,700株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が188,296千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が188,610千円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	2,017,209	2,105,184	1,059,381	844,264	6,026,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,017,209	2,105,184	1,059,381	844,264	6,026,039
セグメント利益又は損失(△)	252,434	1,043,270	45,597	△145,597	1,195,704

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	98,657	6,124,696	-	6,124,696
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	98,657	6,124,696	-	6,124,696
セグメント利益又は損失(△)	18,823	1,214,527	△473,292	741,235

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△473,292千円には、全社費用△475,242千円、セグメント間取引1,950千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	2,343,979	2,216,104	1,127,227	463,310	6,150,621
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-	-
計	2,343,979	2,216,104	1,127,227	463,310	6,150,621
セグメント利益又は損失(△)	320,698	1,002,273	48,316	△233,718	1,137,569

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	84,242	6,234,863	-	6,234,863
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-
計	84,242	6,234,863	-	6,234,863
セグメント利益又は損失(△)	19,320	1,156,889	△445,601	711,288

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△445,601千円には、全社費用△447,551千円、セグメント間取引1,950千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。